

2021年度も職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある人や参加される人にスポットを当てた活動を展開しました。

FUNN職員行動指針

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が正会員団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGOに関わる人と人をつなぐ」

「正会員団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。正会員団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGOと他セクターをつなぐ」

「NGOと、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスをを行い、NGOと他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGOの社会的基盤づくりを促進する。

2021年度事業報告 目次

1	2021年度事業別報告	
1-1	NGOの活動や運営に関する支援	P2
1-2	国際協力に関する調査・提言	P4
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	P8
1-4	NGO活動に関する人財育成	P13
1-5	NGO間及び各種団体との連携促進	P14
2	組織	
2-1	組織運営・体制	P16
2-2	会員	P17

1. 2021年度事業別報告

1-1. NGOの活動や運営に関する支援

1-1-1. 2021年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2021年度の活動

① 正会員団体の資金調達、NGO活動強化に資する情報の提供

■ 情報提供や人財紹介

○ 実施内容

ウェブサイト、メール、機関紙等を通して、NGO関連情報や助成金情報の提供、人財・ボランティア紹介などを行いました。外務省・JICA等からの情報を関係団体と共有するほか、FUNN独自で情報収集を行い、メール等による配信・案内を行いました。

○ 成果

2021年度は各地域のネットワークNGOや、外務省民連室、JICA等のFUNNとつながりのある関係機関からのメールマガジンや情報拡散依頼を元に正会員団体へ情報発信を行いました。イベントや研修情報だけでなくNGO向けの助成金、緊急支援に関する情報等を幅広く共有することができました。また、FUNNが受けたNGO相談内でボランティアの参加に関する問い合わせの際は関係機関や正会員団体への紹介も行いました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○ 実施内容

ウェブサイト・SNS・メール・機関紙を通して、正会員団体を中心としたNGO等の情報を市民に発信しました。

○ 成果

正会員団体から依頼を受けた情報をHPやメルマガ、機関紙で発信ができました。その他にも自分たちから情報を収集した正会員の活動情報や関係機関、NGOの研修・イベント情報、また市民からの関心が高いミャンマーやアフガニスタン・ウクライナ等の緊急支援に関する情報も様々な媒体で適宜発信を行いました。

③ NGOの組織・能力強化の支援

■ 九州地域NGO活動助成金（真如苑共催）

宗教学法人真如苑との共催で正会員団体及び九州全域のNGOを対象にした助成金プログラムを企画、実施しました。

○ 実施内容

宗教学法人真如苑との共催で、対象を正会員団体から九州地域に広げて助成金事業を企画、実施しました。7団体からの応募があり半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施した結果、7団体すべての事業が採択されました。

○ 応募受付期間：2021年07月31日（土）～08月31日（火）

○ 事前説明会：2021年07月31日（土）

○ 審査会日：2021年09月25日（土）

○採択団体と事業

- ・ (特活) じゃっど
「学校を基点としたコロナに負けない コミュニティ作り」
- ・ (任団) 子どもに能楽を勧める会
「第12回・子どもと留学生の能楽発表会」
- ・ (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
「サテライトクリニック(SC)再開のための実行可能性調査」
- ・ (特活) 地球市民の会
「日緬の若者が共に学び考える『持続可能な食糧生産アクションプラン』」
- ・ (特活) ISAPH(アイサップ)
「フードモデルを活用したラオス・マラウイ農村部の栄養問題に関する情報発信力強化事業」
- ・ (一社) モザンビークのいのちをつなぐ会
「モザンビーク共和国スラムの学び舎・寺子屋における公衆衛生活動」
- ・ (特活) トウマンハティふくおか
「活動20周年記念誌および特設webサイトの作成」

○成果

2021年度も引き続きFUNN正会員団体及び九州地域の団体へ公募対象を広げて行いました。また新たに日本国内での多文化共生に関する支援プログラムも助成対象と募集したところ、留学生と地域の子どもの交流プログラムに関する応募があった他、昨年度から続くCOVID-19の影響を受けた事業に関する申請、また組織基盤強化としてホームページ作成や活動歴の整理に関する事業の申請がありました。支援を受けた団体は、助成金を有効にご活用いただき、各プロジェクトを効果的に進めていただきました。



▲ 審査会の様子



▲ 審査会の様子

■ 庭野平和財団 COVID-19緊急助成プログラム

コロナ禍の影響を受けたNGO活動や組織運営、コロナ対応活動に対し、庭野平和財団が行う緊急助成事業の九州地域における募集業務をFUNN事務局が担当しました。

○実施内容

該当団体・活動に対し50～100万円助成され、申請の採択・助成は庭野平和財団が行いました。FUNNは募集、ヒヤリング、コンサルテーションを実施。2団体から応募があり、1団体の事業が採択されました。

○採択団体と事業

- ・（特活） Bangladesh と手をつなぐ会
「教育・保健医療活動継続緊急支援事業」

○成果

応募団体側と審査側のつなぎ役として今後に向けた改善点等もありましたが、コロナ禍で必要となった緊急支援に当助成プログラムが有効に活用していただけることで団体の活動支援につなげることができました。

■ NGO等提案型プログラムにむけた取り組み

2021年度中に募集される予定であったNGO等提案型プログラム（JICA）応募企画準備をJICA九州のコンサルティングを受けながら進めていきましたが、2022年1月のNGO-JICA協議会にて今後この形での企画募集をしないことが発表されました。

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2021年度の方針

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

1-2-2. 2021年度の活動

1 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ 2021年度 NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会

ODA政策協議会コーディネーターとして参加し、外務省とNGO間の調整や議題の調整等の業務を担いました。

○実施内容

1. 2022年08月10日～09月07日10か国※に係る国別開発協力方針のパブリックコメント募集
（※カーボベルデ、ガンビア、ケニア、コモロ、コロンビア、ジンバブエ、セネガル、ソマリア、マダガスカル、モザンビーク）

2. 勉強会：「みんなで支えよう！市民と政府のODA政策対話」

日時：2021年10月02日（土）13:00～15:30

場所：オンライン（Zoomを使用）

参加者：過去のコーディネーター経験者、議題提案を行ったことがある団体、

ODA政策協議会に関心のある市民・NGO

内容

- (1) ODA政策協議会の目的と意義の確認
- (2) 持続可能なコーディネーターと事務局のあり方

3. 令和三年度第一回ODA政策協議会

日時：2022年03月24日（月）14:00～16:00

場所：オンライン（Zoomを使用）

参加者：外務省国際協力局民間援助連携室（主席事務官）、

ODA政策協議会コーディネータ、NGO団体

報告事項

- (1) 「ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル」増補版の紹介について
- (2) 「2022年人間の安全保障特別報告書」について

協議事項

- (1) ロシアによるウクライナ侵攻への対応について
- (2) DACの市民社会勧告への対応について
- (3) 「グローバルヘルス戦略」とODAについて
- (4) 「女性の活躍推進のための開発戦略」のODA第三者評価結果と戦略の改定について
- (5) モザンビークにおける「プロサバナ事業」終了を受けて：
2012年12月の議題提案から2020年7月の事業終了までの振り返りについて

■市民社会スペースNGOアクションネットワーク（NANCIS）

2014年4月に設立に設立された「秘密保護法NGOアクションネットワーク（NANSL）」の活動を引き継ぎ、より広範な国内外の市民社会スペース（＝市民が自由に言論や活動を展開できる社会の活動領域）の課題に対応するため全国の国際協力NGOのネットワーク組織（ネットワークNGO）を構成団体、個別の国際協力等のNGOを賛同団体とするアクションネットワークです。

○実施内容

引き続き構成団体として参画しました。2021年度は前年度まで担当されていた高橋良輔氏に変わり山崎理事が当初担当していましたが、定期会議の出席が難しいため、途中で交代し藤井副代表が担当となり毎月の世話人会に出席しています。

・声明

2021年05月01日

「【緊急声明】憲法と国際人権規約に反する「重要土地調査規制法案」の撤回を求めます」

2021年06月17日

「【「重要土地調査規制法案」反対緊急声明事務局より】声明：土地規制法の成立に抗議します」

2021年06月30日

「【声明】香港国家安全維持法制定・施行1年に際して」

2021年09月06日

「SDGs16+に関する2021年ローマ市民社会宣言に賛同しました」

2022年02月28日

「【声明】ロシアはウクライナ侵攻を直ちに停止せよ」

・世話人会

毎月開催（全12回：オンライン開催）

・報告書

「SDGsゴール16と国際協力NGO」研究会（2020年2月）報告書

2021年10月31日発行（研究会総括報告：高橋良輔氏）

■ NGO非戦ネット

○実施内容

国際協力に関わるNGOや、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための、継続的で緩やかなネットワーク団体であるNGO非戦ネットの活動に賛同し、メンバーリスト等による情報共有を行いました。

○成果

2021年05月21日付けで日本政府に対し、ミャンマー政府に対する経済協力事業の全面的な見直しを求める共同要請書を他の関連団体と共同で提出しました。

■ 2021年度NGO・外務省定期協議会 連携推進委員会

連携推進委員会の委員として参加し、全国の現場で活動するNGOと連携し、NGOの立場から外務省と協議を行いました。

○実施内容

2021年度は引き続き、対面での開催とはなりませんでした。連携推進委員会はオンラインにて2回の開催、また外務省関係者とのタスクフォースについても今年度は5回の開催となりました。

○各回詳細:

1. 全体会議 中断したままとなっている連携・政策の本格的な会議再開に注力すべく前年に引き続き連携推進委員会とODA政策協議会の全体会議が延期となりました。

2. 第1回連携推進委員会 2021年08月04日（水）14:00~16:00 オンライン開催

報告事項

- (1) 子どもの保護の国際的動向とNGOの取組について
- (2) 「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力NGOの対応戦略」研究調査報告
- (3) 「ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル」増補版の紹介

協議事項

- (1) 開発事業における障がいの主流化について
- (2) 開発人道分野における性的搾取・虐待及びセクシャル・ハラスメントからの保護に関する日本の取組について
- (3) NGO事業補助金制度改善提案を前提とした、本制度の予算及び令和1・2年度の実績状況に関する確認及び意見交換
- (4) 日本NGO連携無償資金協力関連

3. 第2回連携推進委員会 2022年01月28日（金）14:00~16:00 オンライン開催

報告事項

- (1) PSEAHの取り組みについて（外務省）
- (2) 「JPO（Junior Professional Officer）派遣候補者選考試験」の案内（外務省）

協議事項

4. 連携推進委員会タスクフォース 外務省会議室（オンライン参加）

計：5回のうち3回参加（2回は都合により参加できず）

参加者：連携推進委員、外務省国際協力局民間援助連携室、その他関係部署

内容：（1）中期計画、日本NGO連携無償資金協力(N蓮)評価等について

- (2) 安全管理、NGO活動環境整備支援事業、N連効率化、N連実施要領について
- (3) 連携推進委員会・事前打ち合わせ
- (4) NGO研究会、covid-19調査のフォローアップについて
- (5) その他

○成果

2021年度の連携推進委員会は2回実施され、両会ともオンライン形式での開催となりました。外務省とNGOの連携促進や課題の共有がなされました。

■ 2021年度NGO-JICA協議会

○実施内容

NGOとJICAの対等な連携を促進するため、NGO-JICA協議会は設置されています。対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換を行っています。

1. 第一回NGO-JICA協議会

日時：06月03日（木）14:00~16:00

会場：オンライン（Zoom）

【協議事項】

- ・NGOとJICAの連携による責任ある外国人材受け入れ・多文化共生の取り組みの推進
- ・NGO-JICA協議会実施要領の見直し

【報告事項】

- ・草の根技協の制度改善の途中経過報告
- ・アジアNGOネットワークからJICAへの期待
- ・栄養サミットに向けたJICAの取組み
- ・PSEAH・セーフガーディング・ジェンダー主流化の取組み
- ・NGO研究会テーマ、NGOデータブック作成
- ・環境社会配慮ガイドラインの検討状況、進め方の説明

2. 第二回NGO-JICA協議会

日時：2022年01月21日（金）14:00~16:30

会場：オンライン（Zoom）

【協議事項】

① 「多文化共生」をテーマにNGO-JICAの連携について

事例報告：

- ・えひめグローバルネットワーク「多文化共生型減災社会づくり実践研修」
- ・PHD協会「兵庫発！多文化共生のための市民社会とビジネスセクター連携構築プログラム
ー外国人労働者とのより良い共生に向けてー」

② 「若い世代の参加と育成（多様なセクターの連携）」をテーマにNGO-JICAの連携について

- ・関西のNGOが実施するユース世代が参画する取り組みの報告
- ・JICA関西が実施しているユース世代が参画する取り組みの報告

【報告事項】

- ① NGO-JICA協議会全体会の実施体制について（関西NGO協議会）
- ② JICA関西の近況報告
- ③ 関西SDGs市民アジェンダ（関西NGO協議会）
- ④ その他団体報告
- ⑤ 報告事項に関する質疑応答

○成果

NGO-JICAの連携に関わる最新の情報の共有の場になりました。

■G7市民社会コアリション（仮称）

○実施内容

2023年に日本でG7サミットが開催予定であり、市民社会レベルでの提言活動に関する準備会合に参加。2022年度も引き続き協議に参加していきます。

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2021年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

1-3-2. 2021年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■国際協力ニュース

○実施内容

国際協力やNGO・正会員団体・FUNNの活動の情報発信ツールとして2021年度は年4回の発行とし各600部を発行しました。またNGO相談員案内チラシや正会員団体へ告知などの発行物をニュース発行時に同封することで、正会員団体や関係機関の情報発信に協力しました。

○成果

正会員団体、個人会員、地域NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布しました。2021年度は編集ソフトの変更を機に多文化共生コラムや、九州地域NGO活動助成金の各助成団体からの事業報告の掲載等紙面内容の一部をリニューアル実施。市民の方がより正会員団体の活動に触れる機会や国際理解の促進につながるよう工夫しました。

■メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN ! 」

○実施内容

FUNNや正会員団体を中心とするNGOのイベントやボランティア情報などを掲載し行動のきっかけとなるメールマガジンを目指します。発行は隔週木曜日に発行しました。

■ウェブサイトとSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

○実施内容

FUNN公式ホームページとFacebook、Twitter、InstagramなどのSNSを連動し、FUNNや正会員団体のイベント、活動情報を提供しました。

○成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。2021年度は新たにInstagramでの情報を開始しました。各SNSでは普段活用する市民の年齢層が異なる傾向があるので、それぞれのメインターゲットに合わせた情報発信の強化を心がけていきます。

2021年04月01日～2022年03月31日の登録者数の推移

Facebook	845→ 940	フォロー数
Twitter	771→ 819	フォロワー
Instagram	0→ 96	フォロワー(10/23開始)
FUNN公式サイト	13,174	UU(ユニークユーザ/年)
メールマガジン	470→ 483	登録者

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

■倶楽部FUNN

○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場の提供として開催しています。2021年度も引き続き、「リモート倶楽部FUNN」としてオンライン開催しました。内容も「多文化共生」に焦点を当て、日本で生活する外国人スピーカーに多数出演してもらいました。

開催日	タイトル	講師	参加者数
04月09日	「サワディー佐賀」の挑戦～新聞記者、国際協力、そして多文化共生へ～	山路 健造 (地球市民の会)	12名
06月11日	「日本で見つけた新しい私～人とのつながりの大切さ～」	ダニエル・ピアネメ (カナダ人ALT)	22名
08月06日	「日本での技能実習生の体験＆多文化共生ワークショップ」	・ゲンティ・ミーレさん (ベトナム人技能実習生) ・鬼丸 武士 (JICAデスク福岡)	23名
10月15日	「わたしの国際協力～西アフリカでの仕事を通じて気づいたこと～」	加藤 綾乃 (NGO福岡ネットワーク)	11名

12月10日	「なぜヨルダンで森づくりをしているのか」	能智 元晴 (ミドリゼーションプロジェクト)	17名
01月29日	FUNN加盟団体懇親会	FUNN正会員団体5団体	13名

○成果

2021年度もオンラインによる開催を全6回行い、計98名の方にご参加いただきました。2021年度は正会員団体関係者の方以外にも事務局スタッフの知り合いの外国籍の方にスピーカーに出演してもらうことで、市民の方に多文化共生に関する理解促進ができたと思います。



▲倶楽部FUNN8月告知バナー



▲参加者との集合写真

■ NGO合同説明会

○実施内容

国際協力を知りたい、NGOの活動に参加したいという大学生を対象に、正会員団体を中心にブースを設けて、各団体の活動紹介やボランティア募集を行いました。2021年度は2年ぶりに開催し、例年とは異なる秋に開催しました。

日程	企画名	会場	参加団体数	参加学生数
10月13日(水)	NGO合同説明会	西南学院百年館(松緑館)	8団体	24名

○成果

2020年度新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業実施ができませんでしたが、2021年度は西南学院大学ボランティアセンター様のご協力もあり、10月に対面での開催ができました。実施にあたっては各団体や参加学生の感染対策の徹底のほか、直接会場に参加できない団体はオンラインツールを活用して遠隔での参加もしていただきました。参加した学生からはアンケートで満足したという意見やオンラインでも国際協力に参加できることを知ることができて良かったという声をいただきました。



▲全体説明の様子



▲ブースの様子

■第21期NGOカレッジ「#平和のつくりかた～NGOの現場から～そしてわたしたちは？」

国際協力に関心のある市民を対象にNGOの活動や世界課題の現状等を知り、自ら出来ることを考える学習の場として実施するFUNN主催の連続講座です。21期目を迎えた今期、NGOカレッジのテーマは、「#平和のつくりかた～NGOの現場から～そしてわたしたちは？」。全3回の連続講座をオンラインにて開催しました。

開催日	タイトル	①講師 ②話題提供者	参加者数
02月19日	平和構築と開発援助に関わる～アフガニスタンを事例として	①林 裕（福岡大学商学部貿易学科准教授） ②浦田 菖平（元ペシャワール会PMS支援室職員）	33名
02月26日	多面的な視点で平和を考える～NGOの活動現場の経験から	①今井 高樹（日本国際ボランティアセンター(JVC)代表理事） ②柴田 京子（地球市民の会・ミャンマー事業プロジェクトマネージャー）	33名
03月05日	平和をつくるためのアドボカシーって？～そして私たちにできることは？	①木口 由香（NGOメコン・ウォッチ事務局長/理事） ②楠原 圭子（アジア開発銀行福岡フォーラム） フレンズ国際ワークキャンプ（FIWC）九州	29名

○成果

当初はオンラインと対面型のハイブリット形式での開催を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い全面オンライン形式での開催に変更しました。事前に申し込み頂いていた参加者の中でオンライン参加が難しい方へは配信会場を設けてご参加いただけるようにしました。また、今回は10名の大学生ボランティアにも参加していただき、企画検討から当日の進行・発表など様々な場面でご協力いただきました。内容の「平和構築」については、開催期間にロシアのウクライナ侵攻が発生した時期と重なり、市民からの関心が高まっている中での開催となりました。各回のグループワークや3回目の最後に参加者で共有した「私達のできること～キーワード」の場面でも、意見交換が行われ当企画が現在進行形で発生している問題について改めて考え直す機会となりました。最後に有志でウクライナ情勢に関するピースメッセージを掲げHPに掲載しました。



▲3回目終了後のピースメッセージ共有の様子

■外務省「NGO相談員」

○実施内容

外務省NGO活動環境整備支援事業「NGO相談員」を受託し、市民・企業・行政・教育関係からのNGOや国際協力に関する相談業務を行いました。

○成果

年間相談件数：444件（2020年度457件）

出張サービス件数：5件（2020年度4件）

SNSリーチ数：300,681件（2020年度120,680件）

2021年度は一般市民の方からはNGO・国際協力業界への就職やキャリアに関する相談が数多く寄せられました。相談者のニーズを汲み取って様々な視点から国際協力への関わり方の提案を心がけました。また、学生からはSDGsに関する問い合わせも2021度も引き続き多く寄せられました。また、2021年8月アフガニスタンのタリバン権力掌握や2022年2月のロシアのウクライナ侵攻の際は、支援窓口の問い合わせも一般市民、行政機関問わず多数寄せられました。

■NGO相談員「出張サービス」

○実施内容

市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や相談員制度の認知度を積極的に行いました。2021年度は5件の出張サービスを実施しました。

(2020年度は4件)

日程	出張先	場所
2021年07月01日	JICA九州国際協力推進員会議	JICA九州センター
2021年10月30日	おおいたワールドフェスタ	大分県大分市
2021年10月31日	佐賀国際フェスタ	佐賀県小城市
2021年12月10日	佐賀市立川副中学校	佐賀市立川副中学校
2022年01月09日	認定NPO法人とす市民活動ネットワーク	佐賀県鳥栖市

○成果

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインを活用した出張サービス依頼が数多く寄せられましたが、2021年度はイベント出展等対面での依頼が多く寄せられました。その一方で新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で出張サービスが中止となった依頼もありました。2022年度も引き続きオンラインでの依頼を広く呼びかけて行きたいと思います。

■講師派遣・講演登壇

○実施内容

大学の講義や小・中・高校での総合学習の授業、市民・他団体の取組や企画にFUNN職員や正会員団体を派遣、派遣依頼の調整を行いました。

06月28日（月）Earth for Children

07月05日（月）九州海外協力協会

07月12日（月）フレンズ国際ワークキャンプ九州委員会

07月19日（月）じゃっど

FUNN実施の講義

日程	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
2021年06月21日 (月)	国際協力実践論	九州国際大学	北九州市	50名

■ 国際理解・多文化共生に関する情報共有、学習機会の場

-2020年度に実施したJICA九州・FUNN正会員団体・関係者の参加による国際理解や多文化共生に関するラウンドテーブルは、コロナ禍の影響で2021年度は開催できませんでした。2022年度再開に向けて検討をJICA九州と行いました。

1-4. NGO活動に関する人財育成

1-4-1. 2021年度の方針

FUNNや福岡の国際協力活動の発展に資する人財の確保・育成のための活動に取り組みます。

1-4-2. 2021年度の活動

① 人財確保・育成の為の施策

■ ボランティア

○ 実施内容

国際協力やNGOの活動に関心のある方をFUNNのボランティアとして受け入れました。NGO相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、正会員団体の活動紹介や仲介などを行いました。

○ 成果

2021年度は11名の大学生ボランティアに参加していただきNGOカレッジ内での当日運営補助や体験レポートの作成、また国際協力ニュースの多文化共生コラム作成に協力していただきました。2022年度も引き続き1名の大学生の方が、通年でボランティアとして関わっていただく予定です。

■ インターンシップの受入れ

○ 実施内容

NPO法人ドットジェイピーからインターンシップを5名受け入れました。

前半：2021年08月01日～09月30日 3名

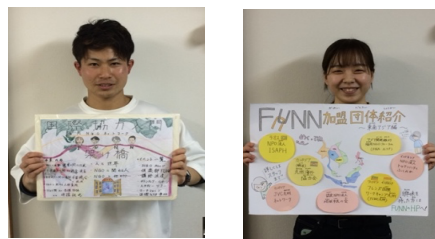
後半：2022年02月01日～03月31日 3名

○ 成果

国際協力に興味がある学生に現地活動の大切さと現地ではない中間支援を行うFUNNの役割などについて理解し学んで貰いました。夏季インターンでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と重なり、リモートでの参加となりました。春季インターンでは、NGOカレッジと時期が重なり、企画運営の補助をはじめSNS投稿記事作成、FUNN紹介パネルの作成、事務局作業の補助等幅広く関わっていただきました。2022年度は大学生インターンシップの受け入れに関するマニュアルを事務局内で作成して、よりプログラムの充実を図ります。



▲夏季インターンシップ参加者



▲春季インターンシップ参加者

1-5. NGO間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2021年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGOとNGOをつなぎ、NGOとは異なるセクターをつなぐことによる相乗効果を目指します。

1-5-2. 2021年度の活動

①ネットワークの構築

■ネットワーク活動

○実施内容

(特活) 国際協力NGOセンター (JANIC)、(特活) 関西NGO協議会、(特活) 名古屋NGOセンター、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA国際協力推進員、九州ESD活動支援センター、(公財) 福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)、(公財) 福岡県国際交流センター、福岡県NPO・ボランティアセンター、福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、久留米市市民活動サポートセンター「みんくる」、佐賀県推進機構、佐賀市民活動プラザ、北九州市国際交流団体ネットワーク (キーネット)、福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」、佐賀県国際交流協会、おおいた国際交流プラザ、長崎県国際交流協会、熊本市国際交流会館、宮崎県国際交流協会、鹿児島県国際交流協会などFUNNが加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換・連携促進を図りました。また、『持続可能な開発のための教育』を推進する「地域ESD推進拠点」に登録し、地方センターのパートナーとして、他の地域ESD拠点とも連携し、各地域・各分野で取り組まれるESDをさまざまな形で支援することで、「ESD推進ネットワーク」の中で中核的な役割を果たすことが期待されています。

○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、お互いの相談に応じたりすることで連携が強化されるなどの良好な関係を構築することができました。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で施設訪問の機会が限られましたが、7月と2月JICA九州国際協力推進員会議の参加はじめ12月のJANICスタッフの福岡訪問、またESD関連では1月に国立夜須高原青少年自然の家スタッフと対面での今後の連携に関する対面の場ができました。2022年度も引き続き、対面とオンライン両方を活用して各関係機関と日常的に連絡を取り合うことでより密接なネットワーク構築を目指します。



▲12月のJANICスタッフ訪問の様子

■地域NGOネットワークNGOの集い

○実施内容

ネットワークNGOはNGOを媒介する中間支援組織的な役割と合わせ、政策提言や開発教育、人材育成、近年ではSDGsの普及啓発や国際会議の開催といった役割をそれぞれの地域で果たしてきました。そうした中、各地域、それぞれの活動状況など、共有しあいながらネットワークNGO特有の運営の課題、ネットワークNGOの連携、今後の在り方について情報交換の場としてNGOの自主開催として13年ぶりに開催しました。FUNNも呼びかけ人の一人として開催に協力しました。

1. 第一回地域ネットワークNGOの集い

日時：2021年09月24日（金）13:00～15:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：各地のネットワークNGOスタッフ（9団体）

内容：①団体概要（団体の設立の背景、規模、特徴など）

②組織の現状や課題、力を入れている活動の紹介など

○成果

ネットワークNGO間で意見交換する機会があまりなかったので今回このような企画を実施できたことは各団体の連携強化につながるので大変有意義な時間となりました。また2022年04月07日に定期開催に向けた準備会が実施され、今後も継続的な開催が予定されています。

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【理事】

二ノ坂 保喜／（特活） Bangladeshと手をつなぐ会 代表 [代表理事]
藤井 大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学現代ビジネス学部 准教授 [副代表]
原田 君子／（特活）NGO福岡ネットワーク 事務局長 [副代表]
安村 妙／JVC九州ネットワーク [事務局長]
楠原 圭子／アジア開発銀行福岡NGOフォーラム 事務局
本田 正之／元NGO福岡ネットワーク 事務局
河上 雅夫／NGO福岡ネットワーク連携推進担当
山崎 裕章／NGO Earth for Children
弥栄 睦子／（特活）トウマンハティふくおか 代表

【監事】 河辺 正

事務局

【事務局長】 原田 君子（2021年5月退任）、安村 妙

【事務局スタッフ】 松崎 浩平、小原 正道

【会計】 山田 英行（2021年9月退職）、加藤 綾乃

【連携推進担当】 河上 雅夫

■通常総会：2021年05月23日（日）福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室 & オンライン

■通常理事会：毎月1回

■事務局会議：毎週1回水曜日

2-2. 会員

正会員（全23団体）

(特活) ISAPH
アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
(特活) アジア女性センター
(特活) エスペランサ
NGO Earth for Children
(特活) 九州海外協力協会
債務と貧困を考えるジュビリー九州
佐賀NGOネットワーク
JVC九州ネットワーク
(特活) じゃっど
認定NPO法人 ソルト・パヤタス
認定NPO法人 地球市民の会
チベットを知る会
NPO法人 トゥマンハティふくおか
国際協力NGO NESTEP
ネパール歯科医療協力会（ADCN）
芭蕉繊維研究会
(特活) バングラデシュと手をつなぐ会
PP21ふくおか自由学校
福岡YMCA
フレンズ国際ワークキャンプ九州
(一社) ミドリゼーションプロジェクト
モザンビークのいのちをつなぐ会

個人会員

賛助会員（個人） 12名
賛助会員（団体） 0
賛助会員（企業） 0
通信会員 19名

※2022年3月31日時点